

QC検定レベル表マトリックス(実践編)

		1級	2級	3級	
品質管理の基本 (QC的なものの見方/考え方)	マーケットイン, プロダクトアウト, 顧客の特定, Win-Win	◎	◎	◎	
	品質優先, 品質第一	◎	◎	◎	
	後工程はお客様	◎	◎	◎	
	プロセス重視 (品質は工程で作るの広義の意味)	◎	◎	◎	
	特性と要因, 因果関係	◎	◎	◎	
	応急対策, 再発防止, 未然防止	◎	◎	○	
	源流管理	◎	◎	◎	
	目的志向	◎	◎	◎	
	QCD+PSME	◎	◎	◎	
	重点指向	◎	◎	◎	
	事実に基づく活動, 三現主義	◎	◎	◎	
	見える化, 潜在トラブルの顕在化	◎	◎	○	
	ばらつきに注目する考え方	◎	◎	◎	
	全部門, 全員参加	◎	◎	◎	
	人間性尊重, 従業員満足(ES)	◎	◎	◎	
品質の概念	品質の定義	◎	◎	○	
	要求品質と品質要素	◎	◎	○	
	ねらいの品質とできばえの品質	◎	◎	○	
	品質特性, 代用特性	◎	◎	○	
	当たり前品質と魅力的品質	◎	◎	○	
	サービスの品質, 仕事の品質	◎	◎	○	
	社会的品質	◎	○	○	
	顧客満足(CS), 顧客価値	◎	○	△	
管理の方法	維持と改善	◎	◎	○	
	PDCA, SDCA	◎	◎	◎	
	継続的改善	◎	◎	○	
	問題と課題	◎	◎	○	
	問題解決型QCストーリー	◎	◎	◎	
	課題達成型QCストーリー	◎	◎	○*	
品質保証	新製品開発	結果の保証とプロセスによる保証	◎	○	○*
		保証と補償	◎	○	△*
		品質保証体系図	◎	○	△*
		品質機能展開(QFD)	◎	○	△*
		DRとトラブル予測, FMEA, FTA	◎	○	△*
		品質保証のプロセス, 保証の網 (QAネットワーク)	◎	○	△*
		製品ライフサイクル全体での品質保証	◎	○	△*
		製品安全, 環境配慮, 製造物責任	◎	○	△*
		初期流動管理	◎	○	
		市場トラブル対応, 苦情とその処理	◎	○	○*
	プロセス保証	作業標準書	◎	○	○
		プロセス (工程) の考え方	◎	○	○
		QC工程図, フローチャート	◎	○	△
		工程異常の考え方とその発見・処置	◎	○	△
		工程能力調査, 工程解析	◎	○	△
		変更管理, 変化点管理	◎	○	
		検査の目的・意義・考え方(適合, 不適合)	◎	○	○
		検査の種類と方法	◎	○	○
		計測の基本	◎	○	△
品質経営の要素	方針管理	方針(目標と方策)	◎	◎	○
		方針の展開とすり合せ	◎	○	△
		方針管理のしくみとその運用	◎	○	△
		方針の達成度評価と反省	◎	○	△
	機能別管理	マトリックス管理	○	△	
		クロスファンクショナルチーム(CFT)	○	△	
		機能別委員会	○	△	
		機能別の責任と権限	○	△	
	日常管理	業務分掌, 責任と権限	◎	◎	○
		管理項目 (管理点と点検点), 管理項目一覧表	◎	◎	○

QC検定レベル表マトリックス(実践編)

			1級	2級	3級
		異常とその処置	◎	◎	○
		変化点とその管理	◎	○	△
	標準化	標準化の目的・意義・考え方	◎	○	△
		社内標準化とその進め方	◎	○	△
		産業標準化, 国際標準化	◎	○	△
	小集団活動	小集団改善活動 (QCサークル活動など) とその進め方	◎	◎	○
	人材育成	品質教育とその体系	◎	○	△
	診断・監査	品質監査	◎	○	
		トップ診断	◎	○	
	品質マネジメントシステム	品質マネジメントの原則	◎	○	△*
		ISO9001	◎	○	△*
		第三者認証制度	○	△	
		品質マネジメントシステムの運用	◎	△	
	倫理/社会的責任	品質管理に携わる人の倫理	○	△	
		社会的責任 (SR)	○	△	
品質管理周辺の実践活動	顧客価値創造技術 (商品企画七つ道具を含む)	○	△		
	マーケティング、顧客関係性管理	○			
	IE, VE	○	△		
	設備管理, 資材管理, 生産における物流・量管理	○	△		
	データマイニング, テキストマイニングなど	△			

■凡例 — 必要に応じて、次の記号で補足する内容・種類を区別します。

◎：その内容を実務で運用できるレベル

○：その内容を知識として（定義と基本的な考え方を）理解しているレベル

△：言葉として知っている程度のレベル

*：新たに追加した項目

()：注釈や追記事項を記しています。

《 》：具体的な例を示しています。例としてこの限りではありません。